

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570706671		
法人名	特定非営利活動法人 NPO社会福祉事業振興会		
事業所名	グループホームすずらん湯沢		
所在地	秋田県湯沢市元清水2-5-20		
自己評価作成日	平成25年1月21日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成25年2月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食堂と居間が別々になっており、御利用者にゆっくりと過ごしていただける空間を設けております。また ご利用者一人ひとりの想いを受けとめ、楽しみや活動を通して、ご利用者、職員の絆を大切にしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営推進会議の出席者が、様々な意見や提案をしてホームに協力し、回覧板で広報を地域に配布して事業所のPRに努め、行事を通じて地域との繋がりができるよう努めています。掃除、洗濯物をたたむ、盛り付け等、利用者ができることを考え、楽しみながら生活できるよう支援されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は事業所内に提示しており、職員ミーティング等で再確認しており、理念をもとに年間行事を立てています	法人理念の「創」に基づき、安心して生活できる環境づくりを目指して、笑顔と心身のケアを大切にすることを事業所理念に掲げ、更に、毎年目標を設定して職員会議で確認しながら実践に繋げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	挨拶は忘れずに行うようにしています。地域の理髪店や買い物等にも出掛けております。夏祭りには地域の方々との交流が出来ました。	町内会の協力によって地域への広報配布や夏祭りが行われ、研修の受け入れやデイサービス利用者との交流、玄関前の自販機を置いてある場所にテーブル、椅子を設置する等、交流できる環境づくりがされています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域の方々へこんにちはすずらん湯沢を発行し事業所のようにすを理解していただいております		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	取り組みや、近況報告をして、意見をいただきサービスの向上に繋げていけるよう努めています	2ヶ月に1回開催され、民生委員や町内会等の地域の方々の意見、提案が運営に反映できるよう取り組まれています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	福祉事務所、地域包括支援センター担当者出席の地域ケア会議に出席して、サービスの取り組みを報告協力関係を築いています	運営推進会議への出席の他、相談事項にも対応していただきながら協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し職員ミーティング等で話合っています。玄関施錠に関しては二人対応や見守りの強化等に努め施錠はしていません	ミーティングで、身体拘束の内容を認識してケアにあたるように話しています。やむを得ない場合の関係書類を整備しておかれることを期待します。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修へ参加し学んだ事を職員で話し合うと共に、入浴時の身体チェック、あざなどの確認等、早期発見に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加しています。また利用者の後見人の方にお話しを伺う機会を設けました		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	御利用の際には十分な説明を行い理解を得ています。解約時には御利用者、ご家族と何度も話し合い納得していただいております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の際に御利用者家族の意見や要望を伺っております。運営推進会議に出席していただき、報告意見をいただいております	支払いを毎月持参していただき、家族と対話できるようにしています。運営推進会議の参加も少ないことから、毎月状況報告する際に、ホームの情報を伝えながら家族の意向が把握できるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員ミーティングで職員の意見を聞く機会を設けています。年に1回総会を開き運営に関する報告をしています。	職員の意見やアイデアがサービスの向上に繋がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談を行い意見を聞く機会を設けております。資格取得の際は受験資金援助も行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の開催と個人の能力に見合った外部研修の参加を促しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内管理者間でネットワークを作り、交流を深めています。研修では他同業者との交流をはかっています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期の面談、サービス開催時に情報収集に努め一人ひとりの要望に応えられるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御本人の想い、御家族の想いをよく伺いその想いに近づけるよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者本位になれるよう、御利用者が知り得る事を学び、関わりを大切にしお互い助け合って暮らしているという意識をもって、過ごしています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には個人のお部屋でゆっくりと過ごしていただけるよう配慮しています。ご家族ともコミュニケーションをとり、安心した暮らしが出来るよう共に考え支援させていただいております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所への外出、馴染みの人との面会も時間の制限なく、いつでも出来るように配慮しています	電話や手紙のやり取り、お盆に帰宅する等、利用者の希望することが日常生活の中でできるように支援されています。年賀状は全員が毎年出されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の相性等も考慮しながらの座席配置、孤立している方に関しては職員がなかにはいたり、共同作業を行う事で良い関係が築けるよう努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	近況を把握し、必要な時はこちらから連絡する事も視野にいれております		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の訴えや意向を聞き、したい事、興味を持っている事、何かをすることで輝ける事等、様々な事に取り組んでいただけるよう努めています。出来ない事に関しては無理強いはしないようにしています	普段の会話の中から希望を聞き、日常を観察しながら意向を把握して、気づいたことは「なんでもノート」に記載しています。利用者の生活スタイルに合わせて過ごせるように配慮されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に利用されていた事業所からの情報収集ご本人、ご家族から、その方の生活歴を把握するようにしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別記録、申し送り、ご利用者との関わりの中で変化をみのがさないよう努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングや、ご本人、ご家族との話し合いの中で出た意見や、アイデアを取り入れ介護計画を作成しております	担当職員がモニタリングし、カンファレンスで話し合っ、利用者の意向が反映された介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化を見逃さないよう介護日報、個人記録に記入し、又、情報を共有するノート等で実践や介護計画の見直しに活かしております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	推進会議において地域の情報をいただいたり、地域の店、床屋等を活用して顔なじみになれるよう努めています		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診はご本人、ご家族の意向を聞きかかりつけ医を決めております。何か変化が見られた時には、連絡相談をしております。薬局もかかりつけ薬局があり、相談にのっております	職員の介助、状況によって家族が同行して、以前からのかかりつけ医で受診されています。往診はありませんが、かかりつけ医の看護師に相談しながら健康管理されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内には看護職員はおらず、訪問看護も利用しておりませんが、適切な受診が受けられるようかかりつけ医の看護師に相談しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院になった際は、面会に多く通い担当看護師との情報交換に努めております又、定期受診の際には、詳しく状態報告や相談等をして関係作りに努めております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院時に事業所で出来る限りを説明しております。ご本人の体調の変化がみられたらその都度ご家族と話し合いをして、ご家族の意向を確認し他施設での対応等含め事業所で出来る事を支援しております	終末期には対応していないため、ホームでできることを説明しています。地域包括支援センターとも相談しながら状況に応じた対応をされています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内で救急救命の講習を行い、実践力を身に付けております		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行っております。訓練には地域の方々にも協力をお願いし、地域の方々だけの緊急連絡網も作っていただいております	近隣に協力を働きかけ、去年は火災を想定した避難訓練が1回実施されています。玄関前のスロープには除雪機が置かれており、通行不可能な状態です。	建物の構造や居室の位置を考慮し、管理者の研修や運営推進会議での意見を参考にして訓練計画を策定し、安全に避難できるよう訓練を実施されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや、対応に努めています。個人の居室に入る際や私物の扱いにも注意しております	言葉遣いに気をつけ、人格を尊重した対応をされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中や、表情などを汲み取り、自己決定に繋がるように心掛けております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の生活ペースや決まり事を把握しご利用者の希望に沿えるよう支援しております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	外出、受診の際は職員と一緒に洋服を選んだり行事等には化粧をしていただいたりし、とても喜ばれております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味付けや見た目にも工夫し、食欲をあげてもらえるようにしています。調理の準備や片付けはご利用者と一緒に行っております。又お酒の好きな方には定期的にお酒を提供しております	職員と一緒にメニューを決めて買い物に同行し、調理法を教える等、利用者の力が活かされています。バイキングを取り入れたり、季節の食事を提供して食事が楽しいものになるよう工夫されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者に合わせた食事形態に努め、一人ひとりの水分量や、摂取量が分かるようチェックし、状況が把握出来るようにしております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っております。その際は見守りや声掛け、出来ない所は手伝っております。食事以外でもご自分の意思で行っている方もおります		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導が必要な方には、排泄チェック表を活用し支援を行っております。夜間のみポータブルを使用している方もおります	介助が必要な利用者も含めて、トイレで排泄されており、さりげない配慮をされています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食後にヨーグルト、おやつ時に寒天を提供しております。出来るだけ水分を多く摂っていただけるよう工夫し、日中休んでいる事が多い方には運動して頂けるよう、お声かけしております		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日は決めておりますが、その日の体調や本人の希望を取り入れて入浴していただいております。色々な入浴剤で楽しんでいたり、入浴の出来ない人には足浴をおこなっております	希望によっては連日の入浴も可能です。入浴剤を日によって変更し、浴室前に掲示して利用者がわかるようにしており、利用者同士と一緒に入浴されることもあります。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はご利用者が1番安心していられる場所で休息していただいております。夜間眠れない方は職員と話してもらうことで安心していただいております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方内容をホームで独自で作り、職員一人ひとりが把握できるよう努めています。かかりつけ医にもその都度説明をうけています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	全員一緒にと言う事は難しいですがその方の生活歴を活かし、毎日の役割や、ご本人が楽しいと思える事が出来るよう支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	四季を感じてもらえるようドライブには積極的に出掛けようとしております。又食材の買い物に職員と一緒に出掛けてもらったり、地域のイベントへの参加、ご利用者の希望があれば外食等にも出掛けております	同法人他地域のホームのお祭りに出かけたり、逆にドライブの途中に立ち寄って利用者とお茶をいただくこともあり、法人内での交流もされています。季節や天候に合わせて戸外に出られるように支援されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お部屋にお小遣いを置いている方もおりますが、自己管理が難しい方が多くご自分で所持していただくような支援はしておりません。買い物時にはご自分でお金を支払っていただいている方もおります		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があればいつでも電話して頂けるようにしております。離れて暮らしておられるご家族には職員と一緒にはがきを書いているいたり、正月には全員が年賀状をご家族に出しました		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者が作った飾りや、作品、写真を展示、花や観葉植物飾り季節感を取り入れ、居心地の良い空間になるよう努めています。冬にはコタツを設置し生活感を出しております	玄関とホールが一体化した造りのため、テーブル、ソファの配置に工夫し、仕切りを設けて鉢植えを置く等の配慮をされています。また、季節に合った飾り付けがされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	気の合ったご利用者同士、お互いの居室を歩き来し、井戸端会議をしておられる方達もおります。一人になりたい時にはご自分のお部屋で休む方、ソファでくつろいでいる方等思い思いに過ごしていただいております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具や身の回りの物は使い慣れた物を持ってきていただいております。居室には家族との写真を飾ったりし、居心地のいい空間になるよう努めています。位牌を持ってきておられる方もおります。	利用者それぞれが身の回りの物を使いやすく設置し、自分の生活スペースをつくっておき、気の合う利用者同士が、お互いの居室を訪問し合っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御利用者が難儀しないで出来るよう、安全面を考慮しながら物を置く場所や使用する物の配置を工夫しております		